

91 高齢ドライバーの安全対策

91 高齢ドライバーの安全対策

◆周りを見渡せば高齢者

「2060年には国民の40%が65歳以上」という予測、皆さんはご存じでしたか。半世紀もしないうちに、「周りを見渡せば高齢者」という、何とも不思議な、SF映画に飛び込んだような感じが現実になるのでしょうか? 元気な高齢者が増え、新サービスや産業が創出されれば、高齢者が日本経済の底上げに寄与し、主役になるというシナリオも夢ではありません。しかし、現状はどうでしょうか。

高齢者社会が及ぼす医療制度や年金財政の圧迫、高齢ドライバーによる交通事故急増など、懸念案件が山積されています。特に高齢者の交通事故は、社会全体が苦慮している切実な大問題で、漠然と手をこまねいて嘆いているわけにはいきません。

◆安全運転ができる養成を

◆業界から安全のモデルを

そこで、私から新年の夢を語らせてください。それはトラック業界から「高齢ドライバーの事故防止対策のモデルを構築」というものです。つまり、安全運転ができる身体と、高い志やスキルを持った高齢プロドライバーを、官民学一体となったカリキュラムで養成し、その取り組み実績をモデルとして国の高齢ドライバー対策に導入し、拡大させていくという、夢のようなプロジェクトなのです。

ここには大きなメリットが2点あります。1点は、トラック事業者(業界)がその効果をまず享受できること。一企業(中小)ではとても手がつけられない施策が、このプロジェクトに乗せることで体感できます。

◆育成・補完する仕組み

安全運転ができるドライバーとはどんなドライバーでしょうか。まず、心と体が健康で、視力や聴力、運動機能、心理的特性なども踏まえた総合的な条件をクリアしなければなりません。「そんなドライバー、ほとんどいないよ」との声が聞こえそうですが、たとえ現実はその中でも、必ず育成、もしくは補完していく仕組みを構築していかなければなりません。各関係者の本気と英知でトラック業界から発信していきませんか。

◇ ◇

2月25日、第12回「安全と健康を推進する協議会」(両輪会)を開催します。テーマは「高齢者の安全・健康対策」です。

(次回は2月11月号に掲載)



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会
SAS検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク
(OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL: 06-6965-3666
FAX: 06-6965-5261
東京オフィス TEL: 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP http://sas.ochis-net.jp/